

# 平成28年度 富士見町当初予算

## ～富士見町地方創生のスタートダッシュ～

### 一般会計 67億1,800万円

平成28年度は「富士見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第5次総合計画」に基づき、活力ある明るい町の創出につながる施策、安心安全を確保する施策を基本に、積極的な予算編成としました。

#### 今年の予算は、どのくらい？

下の図は、一般会計予算額の歳入歳出の内訳です。平成28年度当初予算額は、67億1,800万円となります。歳入のうち、もともと大きな割合を占めているのが「町税」です。景気回復基調を背景に、個人住民税は増額を見込みますが、法人住民税は企業動向と税制改正の影響により減額を見込みます。また固定資産税は新増築の増加等により増額を見込み、町税全体で23億1,218万円、前年度比4.0%の減となります。財政健全化を示す自主財源の割合は0.4%の減で46.4%となります。

また、歳出については、パノラマスキー場の施設買取りに係る起債について、前年度繰上償還を行ったことにより、今年度はこの財源を、テレワーク推進事業、子ども・子育て

#### 富士見町第5次総合計画

- ① 人口の維持
- ② 健全財政の維持
- ③ 健康・福祉のまちづくり
- ④ 安心安全のまちづくり
- ⑤ 農業の復活
- ⑥ 観光強化
- ⑦ 教育のまち富士見
- ⑧ 安定した行政運営

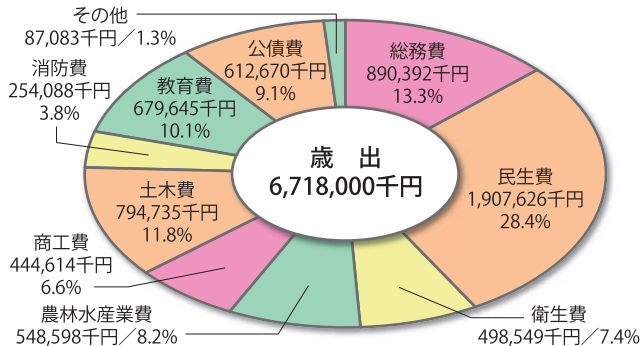
て関連事業、安心・安全対策事業などに充当し、「重点施策」として取り組みます。なお、この「重点施策」は、テレワーク推進事業は総務費に、子ども・子育て関連事業は民生費及び教育費に、安心・安全対策事業である町道長寿命化修繕事業は土木費に、同じく町民広場高圧受変電設備更新は教育費に、それぞれ計上されています。

そのほか、農業の強化としてレタス100ha構想や、カシス、ワインの特産化、観光の強化として八ヶ岳観光圏による観光戦略、合わせて福祉の充実を目指し、今年度の「重要施策の継続」として取り組みを行ってまいります。

今年度も財源を確保できることから、財政調整基金の取り崩しは行いません。

#### 歳出総額 67億1,800万円

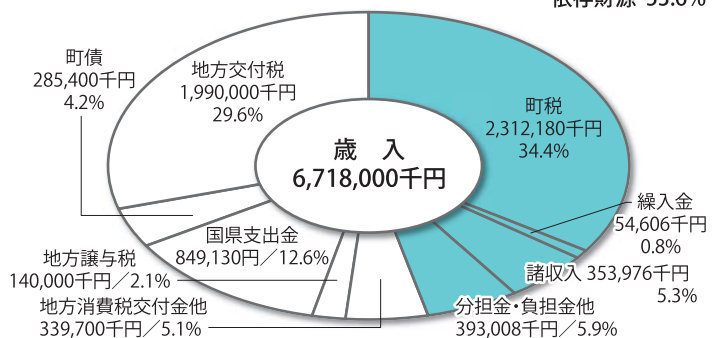
##### 一般会計予算目的別構成割合



#### 歳入総額 67億1,800万円

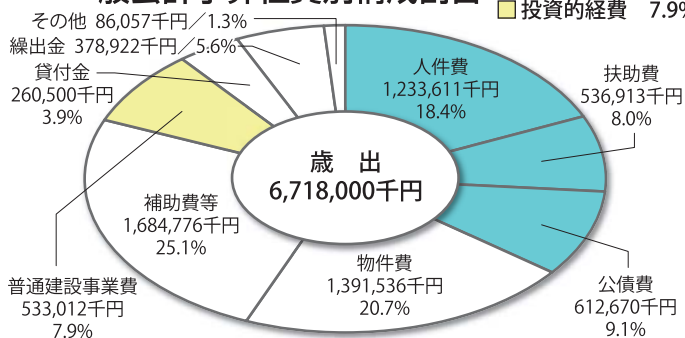
##### 一般会計予算歳入別構成割合

自主財源 46.4%  
依存財源 53.6%

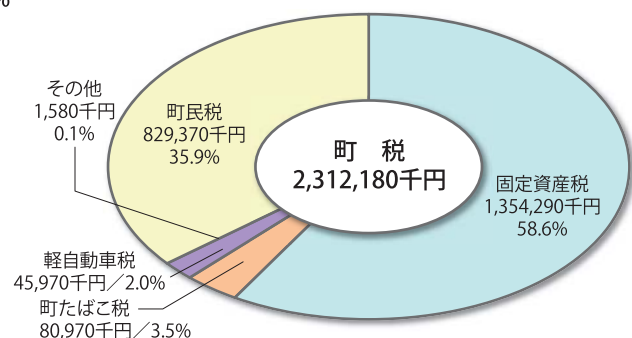


##### 一般会計予算性質別構成割合

■ 義務的経費 35.5%  
■ 投資的経費 7.9%



##### 一般会計予算町税構成割合



※国や県からの補助金などを「依存財源」といい、これに対して町税などの町が自ら収入するものを「自主財源」といいますが、収入全体に占める自主財源の割合が高いほど健全な財政といえます。

## 一般会計当初予算 性質別前年度対比表

(単位:百万円)

区 分	H28	H27	増減
人 件 費	1,233	1,227	6
物 件 費	1,392	1,339	53
維 持 補 修 費	46	55	△9
扶 助 費	537	535	2
補 助 費 等	1,684	1,612	72
一部事務組合	589	584	5
そ の 他	1,095	1,028	67
普 通 建 設 事 業 費	533	682	△149
補 助 事 業 費	165	268	△103
単 独 事 業 費	368	414	△46
災 害 復 旧 事 業 費	0	0	0
公 債 費	613	588	25
積 立 金	35	37	△2
貸 付 金	261	241	20
繰 出 金	379	489	△110
予 備 費	5	5	0
合 計	6,718	6,810	△92

### 町の支出、性質別経費とは？

町の支出(歳出)を性質に着目して分類したもので、「人件費」や「扶助費」「補助費」「普通建設事業費」などに分けられます。左の表は性質別経費を前年度と比較したものです。

特に予算全体における構成比の大きなものとして、人件費(職員・議員委員等の給料共済費など 全体の18・4%)、物件費(賃金や旅費、委託料・備品購入費など 全

体の20・7%)、扶助費(生活保護費や児童手当など 全体の8・0%)、補助費等(国や他団体、一部事務組合に対する負担金など 全体の25・1%)、普通建設事業費(建設工事に係わるもの 全体の7・9%)、公債費(起債の償還に係る元金及び利子 全体の9・1%)となっています。

この性質別予算のうち、人件費、扶助費、公債費は「義務的経費」、普通建設事業費は「投資的経費」と分類されます。

## 平成28年度の主な取り組み

### ★重点施策(パノラスキー場施設買取り起債分原資を充当)

#### ○テレワーク推進事業・・・6,400万円

昨年度しゅん工したサテライトオフィスに入居する企業と連携し、町の産業を強化していくとともに、さらに企業誘致に向けた取組や、地域住民とのコミュニティづくりを行います。

#### ○安心・安全対策への投資・・・6,200万円

町道や橋梁の長寿命化に向けた修繕事業により、道路交通環境整備を行います。また町民広場に設けられた高圧受変電設備の更新を行います。

#### ○子ども・子育て関連事業・・・4,100万円

3歳未満児の第3子以降の乳幼児で、保育園等に入園をしていないお子さんを家庭で育児している方に1ヶ月あたり2万円を支給します。また、児童クラブの対象を6年生まで拡大し、施設の受入体制の強化を図るとともに、保育所の受入体制の強化や、コミュニティスクールの推進事業を行います。コミュニティ・プラザ、町民センターに隣接する広場に、町民が気軽に利用できるような公園を整備する事業に着手します。

### ☆予算の重点配分をする重要施策

#### ○農業の強化

・レタス100ha構想 ・カシス、ワインの特産化 ・農業基盤整備 ・有害鳥獣対策

#### ○観光の強化

・ハヶ岳観光圏による観光の強化 ・南アルプス・ジオパークによる観光の強化

#### ○福祉の充実

・更なる福祉の充実を図り、安心な生活がおくれる富士見町を目指します。



## 平成28年度 特別会計・企業会計予算額

会 計 名	H28予算額	前年比較
国民健康保険	18億9,500万円	8,600万円
後期高齢者医療	1億8,219万円	1,479万円
観光施設貸付事業	1億2,348万円	△1億4,502万円
富士見財産区	1,795万円	25万円

会 計 名	H28予算額	前年比較
本郷・落合・境財産区	3億2,334万円	△4,466万円
乙事財産区	617万円	157万円
水道事業	8億7,779万円	△6,312万円
下水道事業	18億345万円	△6,370万円